

## ■「グランドデザイン・大阪」(素案)に対する府民意見概要

意見件数:166件 (メール106件、電子申請36件、郵便15件、FAX9件)

意見	
総論	・どのようにイノベティブな活動を持続させる国際都市が実現できるか。
	・ここ40年以上もなんの変化もないのは大阪だけ。大阪は40年前の御堂筋や道頓堀と何も変わっていない。いまこそ変化をもたらす刺激を与える都市に。
	・2050年は日本の人口、地理状況が大きく転換する。この計画はそういったことも踏まえた計画にするべき。
	・大阪都心部については、新しいまちづくりの哲学・原理が必要。広域インフラ施設についても、運用を含めた新しい哲学・原理に基づく施策が必要。
	・中之島地域を、「新大阪・大阪エリア」等の4エリアに追加すべき。
エリア	・「人」重視の道路空間に賛同。人(歩行者)中心のまちづくりの積極的な取り組みとしてLRT等の導入を要望。LRTは、ミナミ周辺の一体化を具現化するイメージリーダーとして、回遊ツールとしてきわめて有意義なもの。
	・天王寺から南に向けては、100年の歴史を持つ路面電車(上町線、阪堺線)が既に存在しており、これとの結節を図る事で、帝塚山、住吉、さらには堺に向けての観光、商工展開を図る事も可能。
	・中央大通りだけでなく、大川や東横堀川上空を占有している阪高の地下化を。
	・大阪の古代から近代までの歴史文化を具現するエリアであることを強調すべき。整備することにより、世界歴史遺産登録のポテンシャルを備えている。
みどり	・「大阪はみどりが少ない」とのイメージが持たれるが、このようなイメージを将来払拭していくという強いメッセージが必要。
インフラ	・「車から人に開放する都市構造」、都心に車を遮断する空間を設けることは非常にいい。都心に車を入れなくするため、通過交通を徹底的に排除する。
	・鉄道ネットワーク構想に、ぜひJR東海やJR西日本も参加いただきたい。
	・鉄道の快適性の確保こそが新しい時代を引っ張るインフラ。移動の利便性を高めることで、都市への人口の集中とイノベーションが始まる。
防災	・東北大地震の影響を受けて、防災や、安全・安心が大きな課題であるはず。地震対策のないまちづくり政策にはなんの意味もない。
実現に向けた体制	・全体的には過去からの府市の総合計画とどこがどう違うのか良く理解できないが、それよりも実施する体制が不確か。
	・特に都心部では、「企業参加型まちづくりへの「市民権」付与」、「沿道地権者による歩道空間に関する指定管理者制度の創設」など、もっと踏み込んだ提案を書くべき。